

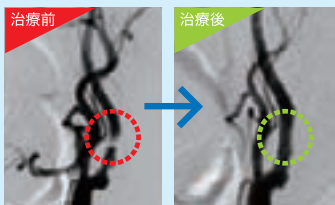
医療最前線 命を支える最新医療

けい どう みやくきょう さくしょう 頸動脈狭窄症の早期治療で 脳梗塞を予防

日本人の死亡原因の中でも上位を占める「脳梗塞」。発症の原因はさまざまですが、近年の食生活の欧米化や高齢化に伴って、「頸動脈狭窄症」が原因で脳梗塞を起こすケースが急速に増えています。では、頸動脈狭窄症とはどんな病気で、どんな治療法があるのでしょうか。当院澤田元史医師に聞きました。

脳梗塞の引き金となる「頸動脈狭窄症」とは？

頸動脈は、脳へ血管を送りこむ、左右2本の太い血管です。この頸動脈に動脈硬化が発生し、血管の通り道が狭くなってしまふ病気が「頸動脈狭窄症」です。放置しておくと、脳に送られる血液が足りなくなるだけでなく、狭くなった部分にコレステロールや血栓のゴミ（プラーク）がで、それらが脳の血管に飛んで脳梗塞を引き起こすことがあります。いったん脳梗塞にかかる、さまざまな後遺症が残ったり、車いすや寝たきりの生活を余儀なくされる場合も少なくありません。この頸動脈狭窄症をしっかり治療すれば、脳梗塞を起こした人は再発予防に、まだ起こしていない人は脳梗塞の発症予防ができます。



血管撮影

松波総合病院
脳神経外科部長 兼 脳卒中部門長

澤田 元史

専門分野：脳動脈瘤、脳腫瘍、三叉神経痛、
顔面痙攣に対する機能外科、
脳血管内治療

認定資格：日本脳神経外科学会：専門医
日本脳卒中学会：専門医
日本脳神経血管内治療学会：専門医



頸動脈狭窄症の治療には2つの選択肢があります。

脳梗塞予防を目的とした頸動脈狭窄症の治療法には、「頸動脈内膜剥離術」と「頸動脈ステント留置術」の2つの方法があります。どちらも有効で、比較的安全な手術ですが、当院では患者さんの状態にあわせて、ベストな治療法を選択しています。

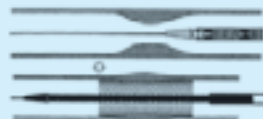
頸動脈内膜剥離術

全身麻酔で首筋を約10cm切開して頸動脈を露出し、頸動脈の中にたまったプラークを内膜とともに取り除きます。取り除いた後は血管を元通りに再縫合します。これで血管がきれいに広がります。



頸動脈ステント留置術

足の付け根の血管からカテーテルを入れ、ステント（金属の網状の筒）を頸動脈に送り込み、動脈硬化を起こしている場所でステントに付いている風船を膨らませ、細くなっている血管を押し広げます。原則的に局所麻酔で行います。



➤ 頸動脈狭窄の有無は、 エコー検査ですぐにわかります。

首筋にエコーをあてるとモニターに血管の状態が映し出され、10分ほどの検査で狭窄の有無や状態を詳しく調べることができます。痛みもなく、造影剤も使わない、体にやさしい検査です。



➤ 脳梗塞を未然に防ぐためにも、 エコー検査を受けましょう。

高血圧や脂質異常症、糖尿病など、動脈硬化の危険因子を持っていらっしゃる方は、自覚症状がなくとも、定期的なエコー検査を受けることをおすすめします。





栄養サポートチーム (NST)

入院中の患者さんにとって栄養状態を良好に保つことは、治療の効果を早めるだけでなく、感染症や合併症を防ぐ効果もあります。そこに着目して、さまざま活動を行っているのが、今回ご紹介する「栄養サポートチーム(NST)」。

多職種の専門家がチームを組み、それぞれの技術と知識を持ち合っ、患者さん一人ひとりに最適な方法で栄養支援を行っています。



適切な栄養管理は、すべての治療の基本です。

栄養サポートチーム(NST)とは？

NSTとはNutrition Support Teamの頭文字をとった略称で、日本では栄養サポートチームといえます。当院のNSTは、医師、看護師、薬剤師、管理栄養士、理学療法士、言語聴覚士、事務職で構成され、適切な栄養管理が必要と判断された患者さんの栄養状態をチェックし、一人ひとりに合った食事や栄養剤の提供を行っています。

主な活動内容

毎週1回、
チームで病棟を回診後
栄養法の検討

毎月1回の
会議

専門家を招いての
勉強会や講習会を
定期的開催

松波総合病院
内分代謝部長

棚橋 弘成

残念ながら、これまで日本の多くの病院では栄養管理が軽視され、栄養に関する医者の知識も十分ではないというのが実情でした。しかし、最近になって、栄養不良が感染症や褥瘡を招き、治療効果を妨げることがわかってきました。すべての病気において患者さんに適切な栄養管理ができれば、病気の回復が早まるだけでなく、余計な合併症も予防でき、患者さんの生活の質が高まります。入院期間が短縮されて、医療費を減らすこともできます。NSTでは、今後も「病気を診るのではなく患者さんを診る」を基本姿勢に、より良い栄養療法を提供できるよう力を尽くしたいと思っています。



松波総合病院
管理栄養士

丸藻 朋子

入院患者さんの栄養状態を総合的にサポートすることは、管理栄養士一人の力ではできません。栄養管理には、看護師や薬剤師、理学療法士などがもつ専門的な知識や技術が不可欠だからです。何より棚橋先生という相談できるドクターがいて、医学的なことも教えていただきながら栄養支援ができ、仕事への意識もより高まりました。



松波総合病院
看護師

安江 三枝子

NSTの活動を始めるようになって一番うれしかったのは、口から食事のとれなかった患者さんが、自力で食べられるようになったこと。口から食べられることで表情が和らぎ、笑顔が出てくるんです。それは、ご家族にとっても大きな喜びでした。これからも、ひとりでも多くの患者さんの笑顔のため、チーム一丸となってがんばります！



松波総合病院
薬剤師

中村 文香

NSTでの薬剤師の役割は、点滴や経腸栄養が適切なバランスで投与されているかをチェックすること。栄養剤と薬剤の相互作用や副作用などをチームへ情報提供することも大事な仕事です。最近では患者さんのもとに伺ってお話しをする機会が増えていますが、その機会を利用して、お薬の相談や情報提供にも努めていきたいと思っています。



かぜ

総合内科副部長

国枝 武重

専門分野：内科一般、循環器
認定資格：日本内科学会 指導医・認定医
日本循環器学会 専門医



鼻水やくしゃみ、のどの痛みや微熱などいわゆる<かぜ>をひいたことのない人はほとんどいないでしょう。それもそのはずで1年間に子供で5~7回、大人で2~3回程度かぜをひくといわれています。ほとんどが何らかのウイルス感染ですが、200種類以上のウイルスが関与しています。<かぜ>は発症から2~3日でピークとなり、多くは1週間程度で自然治癒します。ウイルスには抗生物質が効きませんので、<かぜ>に対する特効薬は基本的にはありません。熱に対して解熱薬、咳に対しては咳止め、など症状にあわせてお薬を使うこととなります。手洗いやうがい、そして十分な栄養と睡眠をとる。普段から予防を心がけることが肝心です。



石黒管理栄養士が
お届けする

体にeヘルシーレシピ

きのことサツマイモの中華風おこわ



松波総合病院
石黒管理栄養士

<材料・2人前>

もち米	1合	にんじん	1/6本(25g)	[A]	水	150ml
豚ひき肉	50g	ゆでたけのこ	25g	酒	大さじ1	
またけ1/4パック(25g)		さつまいも	40g	しょうゆ	大さじ1/2	
ほんしめじ1/4パック(25g)		しょうがのみじん切り	小さじ1/2	砂糖	小さじ1/2	
しいたけ	1個(15g)	鶏がらスープの素	小さじ1	ごま油	大さじ1/2	

<作り方>

- ① もち米は洗い、ザルに上げて水気をきり、30分置く。
- ② またけ、しめじは小房に分ける。しいたけ、にんじん、たけのこはそれぞれ5mm角に切る。さつまいもは1cm角程度の大きさに切る。
- ③ フライパンにごま油を熱し、豚ひき肉、しょうがを炒める。肉の色が変わったら、にんじん・たけのこを加え、軽く火を通す。そこにまたけ・しめじ・しいたけを加えてサッと炒め、①のもち米を入れて更に炒める。
- ④ 炊飯器に③を入れ、鶏がらスープ、[A]を加えて混ぜ合わせ、さつまいものをのせて炊く。器に炊きあがったおこわを盛る。

ここがヘルシーポイント!

風邪に有効な栄養素と言えば、ベータカロテンとビタミンC。にんじんにはベータカロテンが多く含まれ、これが体内でビタミンAに変化。そのビタミンAは粘膜の乾燥を防ぎ、細菌感染に対する抵抗力を高める働きをします。ビタミンCは体の免疫機能を維持する働きをし、さつまいもは加熱してもビタミンCが壊れにくいため特にお勧めです。風邪予防にはウイルスに負けない抵抗力を養うのが一番です。日頃からバランスのよい食生活に心がけ、体力をつけておきましょう。

知ってトクする

洗野薬剤師の

「お薬手帳」を持っていますか？

「お薬手帳」とは、今までに処方されたお薬の名前や飲む量、回数などの記録を残し、安全にお薬を使用して頂くための手帳です。当院では患者様が退院される際、入院中に使用したお薬や退院の時に処方されたお薬を記録した「お薬手帳」の配布を始めました。



くすりのお話し



「お薬手帳」を持っているとこんなときに役立ちます。

- ① 病院を受診した時や薬局でお薬を受け取る際に、医師や薬剤師に「お薬手帳」をみせることで、同じ成分のお薬の重複や飲み合わせが良くないお薬、過去に副作用が起きたお薬の処方避けることができます。最近ではジェネリック医薬品の普及に伴い、お薬の名前が違って成分が同じものが数多くあるので注意が必要です。
- ② 外出時の急な事故や、旅先で病気になってしまった時、「お薬手帳」を携帯していればお薬の内容がわかり、医療機関での対応がしやすくなります。
- ③ 薬局・ドラッグストアで市販薬や健康食品を購入する際にも「お薬手帳」を見せてください。市販薬や健康食品にもお薬と飲み合わせが良くないものがあるからです。

例えばこんなとき...

お薬手帳
持っていれば安心です!

Q:内科でもらった風邪薬、整形外科でもらっている痛み止めと一緒に飲んでいいの？

A:一緒に飲むではいけません。風邪薬に含まれる解熱剤と整形外科の痛み止めと同じ成分が入っている可能性があるからです。「お薬手帳」に服用しているお薬の記録があれば、飲み合わせの判断が可能になります。

「お薬手帳」は病院・薬局ごとに分けてしまっ
ては意味がありません。1人1冊「お薬手帳」を
作りましょう。そして病院、薬局に行く際には必ず
「お薬手帳」を持参するようにしましょう。

まつなみ Information



インドネシア人看護師候補者が来日

日本・インドネシア経済連携協定(EPA)に基づき、当院でインドネシア人看護師候補者2名、リナ・スリヤニンシさん(前列中央)、シラバーン・ロスディアナさん(前列右側)を受け入れる事となりました。2人はインドネシア国内での看護師資格を有しており、6月8日より2ヶ月インドネシアにて日本語研修を行い、8月7日より4ヶ月間豊田市にある中部研修センターにて日本語研修を行っております。12月6日より当院にて看護師候補者として勤務していただき、看護師国家試験合格に向けてサポートしていきます。

人事部より一言 地域、職員の皆様のご支援、ご協力を宜しくお願いいたします。

10月の講習会・イベントのご案内

糖尿病教室 秋の入門コース

一般向け

日時 平成22年10月2日(土) 14:00~16:00
場所 松波総合病院 3階講堂
テーマ1 『糖尿病についてとその治療法』
講師:松波総合病院 副院長 林 慎先生
テーマ2 『これで安心!秋の味覚で失敗しないコツ』
講師:松波総合病院 管理栄養士

※注意事項

事前申し込みや参加費は必要ありません。
どなたでもお気軽にご参加ください。

糖尿病教室 平成22年度 野外実習会

一般向け

糖尿病教室主催 秋の野外実習会を下記の日程にて開催いたします。
みなさんでバス旅行を満喫しましょう。

日時 平成22年10月24日(日)
場所 午前7時10分 受付(玄関ホールにて)
行き先 奈良 ~東大寺・平城遷都1300年祭~
参加費 5,000円
持ち物 タオル、水筒、雨具、筆記用具、持参薬

※注意事項

・必ず医師の許可を得てからご参加ください。
・軽い運動のできる服装でお越しください。・申し込み受付中です。参加をご希望される方は、申込用紙をご記入の上、参加費と共にクリニック受付までお持ちください。
・先着30名になり次第締め切ります。お早めにお申し込みください。

かかりつけ医院のご紹介



羽島市 岩佐医院

内科 小児科 循環器科 在宅医療

診療時間	月	火	水	木	金	土
午前 8:30~12:00	○	○	○	○	○	○
午後 4:30~7:00	○	○	○	—	○	—

休診日 日曜日・祝日

〒501-6229
岐阜県羽島市正木町坂丸2-130
☎ 058-392-8888
FAX 058-391-0670

院長: 岩佐 充矩

気楽に相談しやすい“かかりつけ医”を目指して、地域医療をしております。
松波総合病院の連携診療所として、疾病の早期発見、的確な診断、治療を心掛けております。
また、通院できなくなり、住み慣れた家庭で療養生活を希望される方の『在宅医療』にも、全員で取り組んでおります。



お気軽にお問い合わせください。

☎ 058-388-0111
http://www.matsunami-hsp.or.jp/



当院は、病院内・敷地内
全面禁煙です。
皆様方のご理解とご協力
をお願いします。